

足立区立鹿浜中学校旧校舎その他解体工事

工 事 説 明 会 資 料

日 時	令和 2年 7月17日(金) 午後 7時00分 ~ 午後 8時00分(予定)
場 所	北鹿浜小学校 体育館
発注者	足立区教育委員会事務局 学校運営部 学校施設課
施工者	麻生・渡部建設共同企業体

目 次

1. 工事概要 P-1~3
2. 遵守事項 P-4~7
3. 工程表 P-8
4. 工事車両搬出入経路図 P-9
5. 解体計画図 P-10~11
6. 解体機械カタログ P-12
7. 基準適合ラベル 車載ステッカー P-13
8. 家屋調査について P-14~15
9. アスベスト撤去手順について P-16~18

1. 工 事 概 要

(1)工事件名 足立区立鹿浜中学校旧校舎その他解体工事

(2)工事場所 東京都足立区鹿浜五丁目18番1号

(3)工 期 令和2年7月1日 から 令和3年3月10日
(P8:「工程表」参照)

(4)工事内容 ①校舎(体育館とプールを含む)の解体工事

・基礎部分を含め、全て解体します。

②付属棟・工作物の解体工事

・基礎部分を含め、全て解体します。

③樹木の伐採、伐根工事

④アスベスト含有建材の撤去工事

(5)発注者

足立区

教育委員会学校運営部 学校施設課 建築第二係

工事担当:齋藤 実、和泉 景子

電話:03-3880-5983(直通)

(6)施工者

麻生・渡部建設共同企業体

東京都足立区谷在家1-8-3

電話:03-5652-9981

現場代理人 麻生 雅光

携帯:090-3138-9136

※現場代理人は、特別の事情がない限り、現場に常駐します。

(7)家屋調査会社

株式会社 中央クリエイト

東京都中野区中央5-2-1

電話:03-5342-6508

調査担当者 倉橋 周平

※調査内容のご質問等については現地調査担当が対応いたします。

(8)アスベストについて

アスベスト含有建材は「レベル1」・「レベル2」・「レベル3」の3種類に分類されています。

校内には下記のアスベスト含有建材が使われていて、撤去に関しては関係法令に従い適切に処理いたします。

レベル1 校舎棟・体育館・プール他外壁表面塗装

レベル2 配管エルボー(校舎棟機械室内)、配管パッキン

レベル3 校舎棟内部一部仕上材(天井、壁材、床材:フレキシブルボード他)

(9)解体発生材について

解体工事にて出た発生材は現場内で出来る限り分別をし、
下記の処理場でリサイクル、保管するため適正な処理をします。

「コンクリートガラ」	(株)栄興産業	埼玉県川口市本蓮4-1-54
「木くず」	東関リサイクル(株)	千葉県八街市八街に292
	東武環境センター(株)	埼玉県八潮市西袋768-1
		埼玉県越谷市神明町3-406
	木材開発(株)	神奈川県川崎市川崎区江町1-50
		千葉県市川市本行徳2554-13
「混合発生材」	(株)オネスト	東京都江東区新木場4-3-26
「石綿使用建材」	二光産業処理(有)	群馬県高崎市吉井町上奥字大平2187番1

2. 遵守事項

(1) 作業日

- ・原則として、土曜日を含めた平日を作業日とします。日曜・祝祭日は作業を行いません。
 - ・都合により日曜、祭日に作業を行う場合は、現場出入口に設置する「週間作業予定掲示板」に掲示します。
- 但し、騒音の出ない室内作業・書類作成業務等を行うことがあります。

(2) 作業時間

- ・原則として午前8時開始とし、午後6時終業とします。
- (作業は午後5時迄とし、その前後に作業準備及び後片付け作業を行わせていただきます。)
- ・重機作業は午前8時30分から午後5時迄とします。
 - ・台風・地震等の緊急対策につきましては、作業日・作業時間共、上記以外に作業を行う場合があります。

(3) 休憩時間

- ・原則として午前10:00～10:15、午後3:00～3:15とし、
- お昼休みは午後12:00～1:00とします。
- ・但し、作業内容や進捗状況によっては時間が前後する場合があります。

(4) 搬出入路

- ・工事車両は『工事車両搬出入経路図』の通り通行します。(P9:「工事車両搬出入経路図」参照)
- ・運搬車両の予定台数は「週間作業予定掲示板」にて皆様にお知らせします。

(5) 交通安全対策

- ・現場のゲート前には交通誘導員を配置します。
- ・運搬車両の通行時には、搬出入路上にも適宜交通誘導員を配置します。

- ・車両の運転手には安全運転を心掛けるように、指導徹底します。
- ・当工事の工事車両が識別できるよう、工事件名入りのステッカーをダッシュボード等に表示します。(P13:「車載ステッカー」参照)
- ・必要に応じて、運搬車両の早期点灯・昼間点灯を実施します。

(6) 騒音振動対策

- ・できる限り騒音及び振動発生が少ない工法や重機を採用するとともに、慎重に作業するように心掛けます。
- ・解体建物の周囲を防音パネル及び防音シートで囲い、騒音、振動を制御します。
- ・解体機や掘削機などの建設重機は、都の条例の基準に適合した低騒音タイプを採用します。
(P13:「基準適合ラベル」参照)
- ・騒音、振動計を周囲4カ所に設置します。(P10:「仮設・解体計画」参照)

(7) 火災防止対策

- ・原則として火気使用時間を午前8時開始とし、午後4時までとします。
- ・火気使用責任者を選任し、使用場所や防火管理を監督します。
- ・火気使用時は、使用場所に消火用具を準備します。また、使用の前後で使用場所を散水にて湿潤化し、使用後は時間をおいて残火の確認等もいたします。

(8) アスベスト含有建材の飛散防止対策

- ・関係法令に従い、計画書を作成し関係官庁への届出をします。
- ・計画書に基づき、アスベスト撤去作業に必要な資格者を選定し、作業に従事させます。
- ・撤去前に作業場をシートで囲い、飛散防止剤を建材に噴霧します。
- ・撤去に際しては手作業で行い、極力原型のままの状態を取り外し、速やかに飛散防止の袋にて梱包し、指定した場所で管理し、安全に保管します。

- ・煙突に関しては水を使った「ウォータージェット工法」により安全に撤去します。
- ・撤去後は専用の掃除機等を使用し十分な清掃、片付けを行います。
- ・搬出の際は、指定の収集業者が引き取り、荷台に覆いをかけ安全に運搬、搬出します。
- ・レベル1作業時は、敷地境界にアスベスト濃度測定機を設置し、監視を行います。

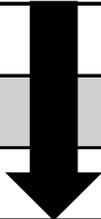
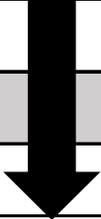
(9) 粉塵対策

- ・解体作業中は散水を十分に行い、粉塵の飛散防止に努めます。
- ・風によるほこりの巻き上げ防止の為、作業前、中、後で作業場を散水で湿潤化します。

(10) その他

- ・工事現場の周囲には高さ3mの仮囲いを設け、工事関係者以外の方が現場敷地内に立ち入ることのないよう管理し、事故防止に努めます。
- ・周辺道路を汚さないよう、車両搬出時にタイヤの洗浄を行い、周囲の環境保護に努めます。
- ・万が一、道路を汚損した場合は、清掃・復旧します。
- ・通勤車両・工事車両は、周辺道路に駐車しません。
又、現場周辺に路上駐車をしないよう、関係者を指導します。
- ・火気の取り扱いには十分注意するとともに、休日中も含め火災の防止に努めます。
- ・工事工程は3週工程表を敷地外周に掲示します。

近隣の皆様へのご迷惑を少なくするよう最善の努力をいたしますが、
万が一問題が発生した場合には、誠意をもって早急に対処いたします。
ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。
何かご不明な点などがございましたら、現場代理人までご連絡ください。

施工スケジュール(案)		
時刻	工事車両運行	作業
08:00		朝礼
08:15		作業準備
08:30	工事車両入場	重機作業開始
	車両出入によりゲートの開閉	
10:00	午前休憩	
	車両出入によりゲートの開閉	
12:00	お昼休み	
13:00		昼礼
	車両出入によりゲートの開閉	
15:00	午後休憩	
	車両出入によりゲートの開閉	重機作業終了
17:00	工事車両退場	
		片付作業
18:00		
※ガラ搬出の際は交通事情により12:00～13:00も稼働する場合があります		

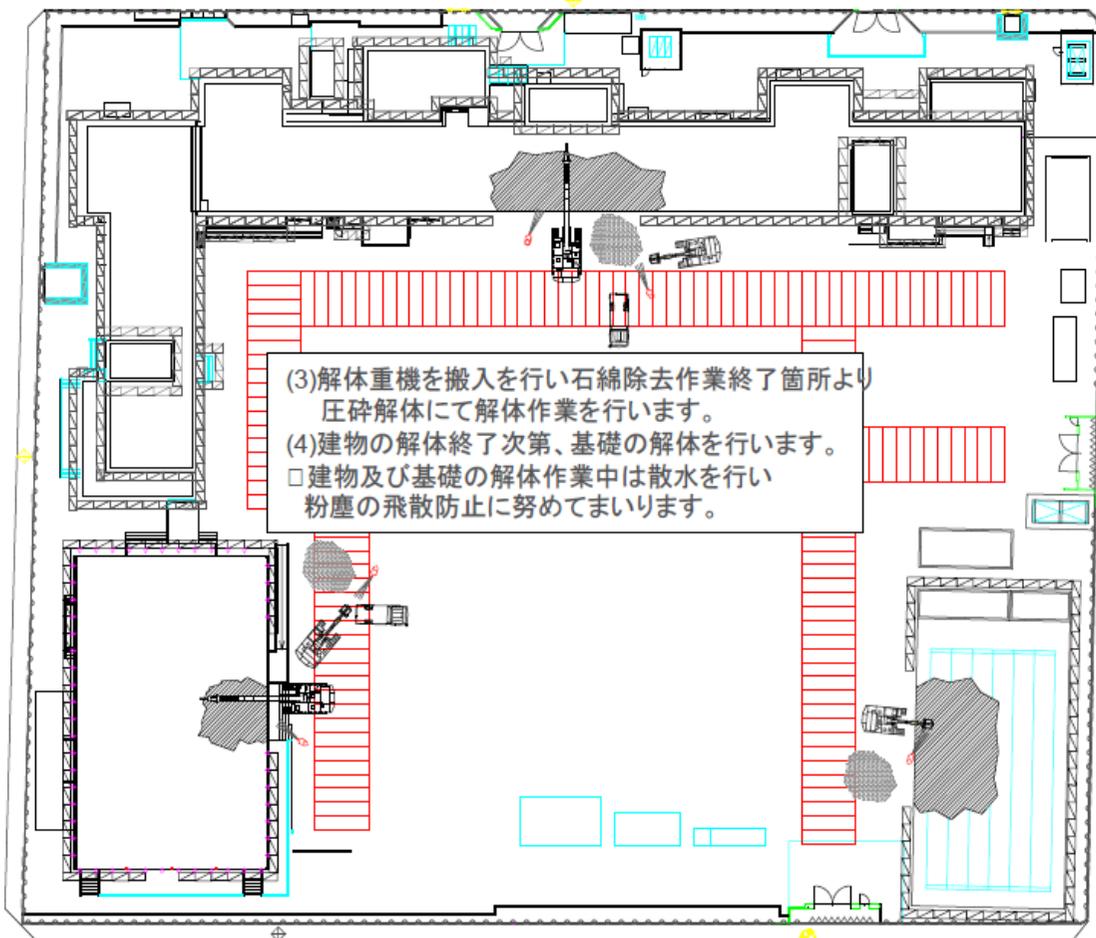
種別	足立区立鹿浜中学校旧校舎その他解体工事									
	令和2年						令和3年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
家屋調査	←→									←→
仮設工事		←→								
解体工事 (プール)		←→								
解体工事 (体育館)		←→								
解体工事 (校舎)			←→							
アスベスト撤去		←→								
外構撤去					←→					
基礎解体			←→							
整地			←→							
騒音・振動発生時期		←→								

※上記工程表は予定ですので、変更となる場合がございます。



4. 工事車両搬出入経路図

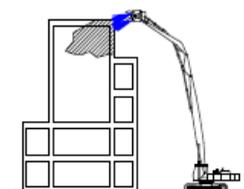
解体計画



(3)解体重機を搬入を行い石綿除去作業終了箇所より
圧砕解体にて解体作業を行います。
(4)建物の解体終了次第、基礎の解体を行います。
□建物及び基礎の解体作業中は散水を行い
粉塵の飛散防止に努めてまいります。

工事用ゲート

工事車両の出入りにつきましては
安全に配慮し誘導員をつけて行います。



重機先端からも散水を行います。
解体は上から順に下に進めます。

6. 解体機械カタログ

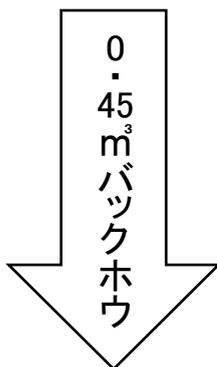
解体用アタッチメント



目的に応じ、解体用重機の先端に取り付けて使用します

解体用重機

建物の圧砕解体などに使用します



7. 基準適合ラベル・車載ステッカー

基準適合ラベル

※ 工事車両の側面に貼付されています



排出ガス基準に関する表示



騒音基準に関する表示

車載ステッカー

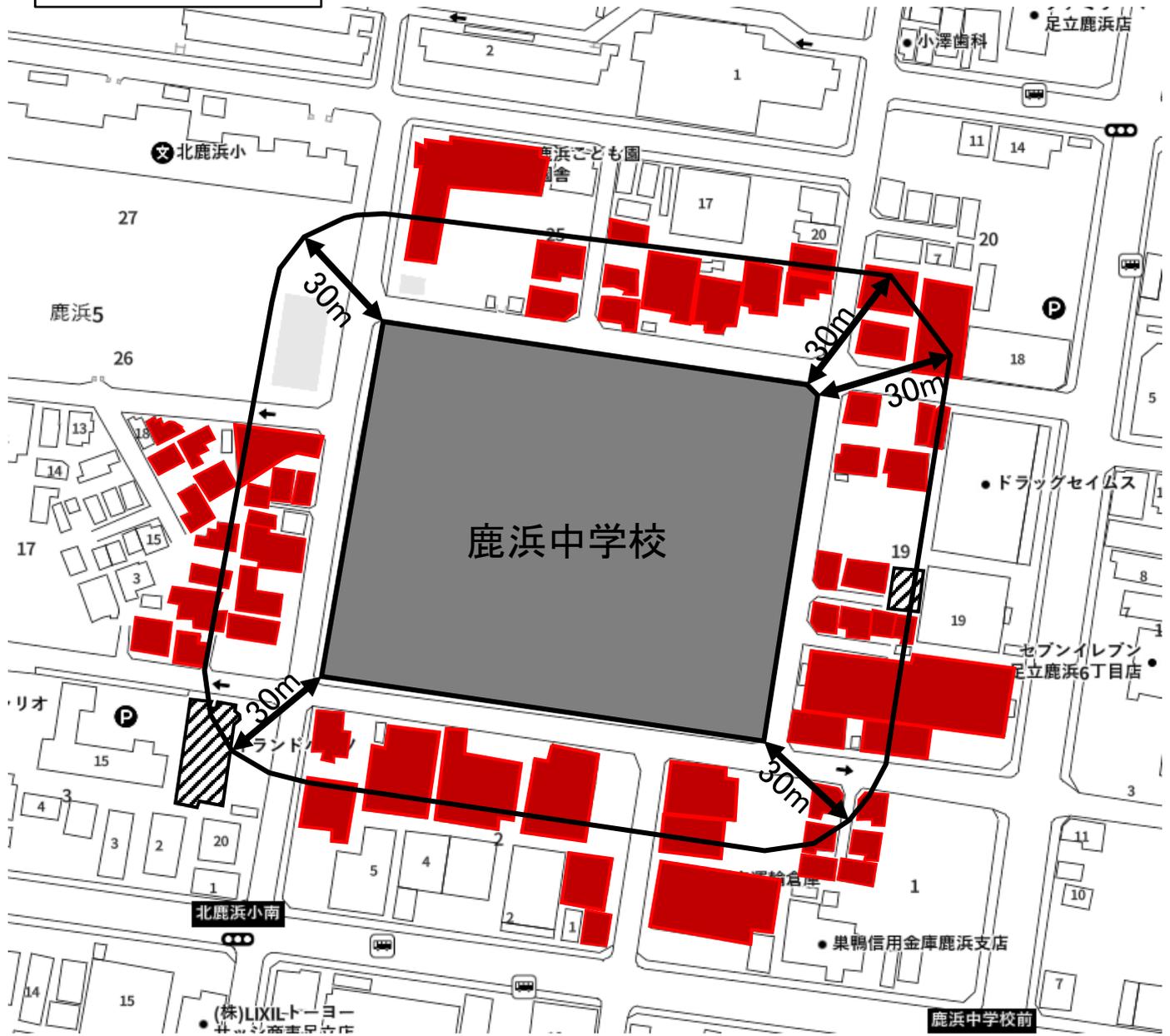
※ 工事車両のダッシュボードに表示します。

工事車両

足立区立鹿浜中学校 旧校舎その他解体工事

麻生・渡部建設共同企業体

家屋調査位置図



※駐車場は上屋がない為、調査対象外とする。

※工事開始前、工事後に調査を行うものとする。

(凡例)

- | | | |
|-------|---|-----|
| 外部調査 |  | 2軒 |
| 内外部調査 |  | 62軒 |
| 工事現場 |  | |

9. アスベスト撤去手順について

アスベスト(石綿)とは熱に強い性質を利用して、建物が火事にならないように天井や壁の材料に使われていました。

しかし、アスベストを大量に吸い込むと体に害があるので、専門業者にて周囲に飛散をしないように十分注意を行い、安全に撤去いたします。

※除去開始前に区役所及び労働基準監督署の検査を行います

石綿粉塵濃度測定

現場内外に浮遊石綿粉塵が飛散していないかを調べるため、濃度測定を行います。

測定は建物の外周4点及び施工区画内で行います。

測定回数は、作業前・作業中・作業後を基本とします。

作業前:現状の把握

作業中:外部への石綿粉塵の流出の確認

作業後:作業場内の残存石綿粉塵の確認(安全性の確認)

※測定は軽量証明事業及び作業環境測定事業の許可を受けた専門業者です。

測定方法は屋外、室内の空気をポンプで一定量フィルターに通し、そのフィルターを測定業者にて位相差顕微鏡により繊維状粒子を計数します。

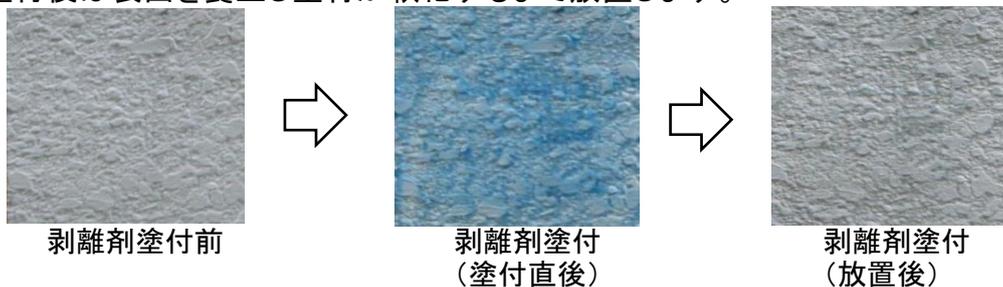
※煙突、屋上の外部アスベスト撤去時は若干の騒音や臭気が予想されます。

レベル1 校舎棟・体育館・プール他外壁表面塗装

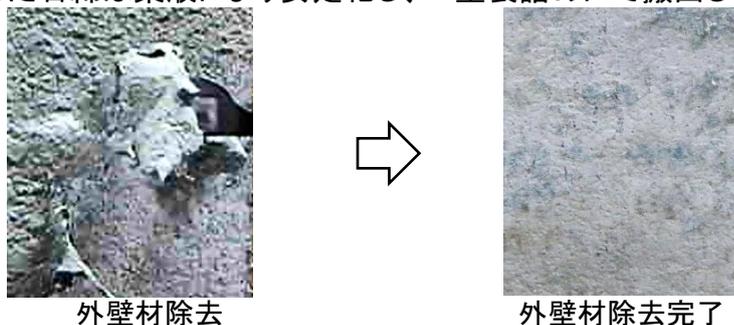
「剥離剤併用手工具ケレン工法」

薬剤を塗装面に塗ることで粉塵の飛散の恐れのない工法で行います

- ① 床面はプラスチックシート(0.15mm)を敷き、養生します。
外部に関しては防音パネル又は防炎シートを設置します。
- ② エアレススプレーガンを設置します。
エアレススプレーガン等を使用し剥離剤を塗り付けます。
塗付後は表面を養生し塗材が軟化するまで放置します。



- ③ ヘラ、スクレーパー等にて塗材の除去を行います。
除去した石綿は薬液により安定化し、二重袋詰めにて搬出します。



- ④ 毎日の作業完了時には、作業員の作業記録を記入し40年間保存します。(石綿則35条)
- ⑤ 使用した工具等を清掃の上、場外へ搬出します。
- ⑥ 除去面・養生シートに粉塵飛散防止剤(アステクターC)を吹き付けます。
- ⑦ プラスチックシートを撤去し、プラスチックシート・保護服等を二重袋詰めにて搬出します。
搬出した廃棄物は、特別管理産業廃棄物として処理します。
- ⑧ 作業場内をHEPAフィルター付真空掃除機・ウェス等で清掃します。

レベル2 配管エルボ（校舎棟機械室内）、配管パッキン

- ① 配管保温材の石綿材含有部分（エルボ部）を養生シート（プラスチックシート0.15mm）で二重に養生を行います。
- ② 養生に不備が無いチェックします。
- ③ 養生した配管を石綿含有部位外の箇所（曲がり部から10cm以上手前）で切断します。



写真-1

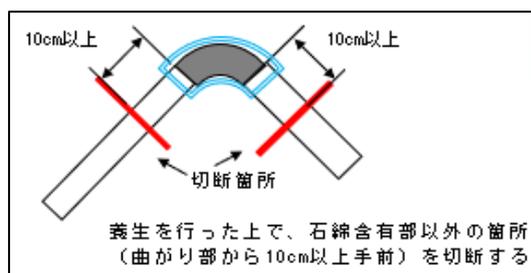


図-1

- ④ 切断した配管を集積し、薬液により安定化し二重のプラスチック袋に詰め密封し保管場所に保管します。
- ⑤ 作業用足場の解体・清掃を行います。
- ⑥ 作業場内をHEPAフィルター付真空掃除機・ウェス等で清掃します。

レベル3 校舎棟内部一部仕上材（天井、壁材、床材：フレキシブルボード他）

- ① 建物の開口部を閉め、ガラクチ等を隔離養生します。
- ② 仕上材を湿潤化し除去開始します。
- ③ 除去仕上材の集積・梱包（専用袋にて二重梱包）を行います。
- ④ 最終清掃を行います。
- ⑤ 除去した廃棄物を適正に搬出・処分します。